

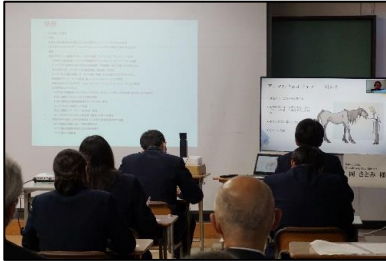
## 令和3年度 第2回運営委員会を開催

10月22日(金)、研究指定校である静内農業高校を会場に、第2回運営委員会を開催しました。運営委員が初めて一堂に会して、対面による委員会を開催し、学校概要の説明、授業見学や校舎内の実習室、農場の視察を行いました。また、この日は、文部科学省から、審議官など4名が視察に訪れました。

### <当日の流れ>

授業見学など

#### 学校設定科目「馬学」



オーストラリアの馬生産の現状について、現地在住の講師からオンラインで説明を受けている様子

#### 科目「食品製造」



本校で生産した大豆となんばんを利用した「なんばん黒みそ」の製造実習の様子

#### 学校設定科目「馬利用学」



学校で飼養している馬を活用した乗馬実習の様子。当日は、週末の小学生体験イベントに向けた実習を実施

### 中間事業報告（学校長から）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、外部講師による授業を一部オンラインに変更して実施し、ほぼ予定どおりの内容で実施できている。
- ・生徒たちは、社会の第一線で活躍する多くの講師から、学校の授業だけでは得ることのできない専門的な知識や考え方を身に付けるとともに、驚きや発見などを体感することで、学習意欲の向上に確実に繋がっている。
- ・多様な価値観を学び、職業選択の幅を広げるとともに様々なことに挑戦する気持ちが芽生えてきている。
- ・3年生の進路希望において、将来の職業を見据え、進学を視野に入れたり、就職先を幅広く考えるようになったりするなど、生徒の変化が確実にみられている。

### 運営委員会委員長の挨拶



基礎自治体である新ひだか町の大野町長が、委員長として協議の進行を担っています。

### 【今年度の主な事業内容】

1年目のテーマは「発見」です。様々な外部講師から最先端の講義を受ける中で、知識や技術を身に付けたり、地域の現状や課題を把握したりするなどの取組を中心に行っています。今年度の事業を通して様々な「発見」をした生徒が、次年度、様々な課題の解決に向けた「挑戦」ができるよう取組を進めています。

学科(コース)	内容	学科(コース)	内容
生産科学科 (馬コース)	・馬産業の現状 ・競走馬の育成及び繁殖 ・馬の獣医療	全学科 (英語科)	・異文化理解 ・姉妹都市の高校との交流の実施 ・農業分野における国際協力
生産科学科 (園芸コース)	・日高農業の現状 ・GAPを活用した生産工程管理 ・新たなアグリビジネスへの取組	全学科 (eコマース)	・企業におけるマーケティング ・ウェブページの作成 ・販売実績の分析
食品科学科	・食品関連産業の実際 ・企業における商品開発 ・地域農産物の加工研究に係る連携	全学科 (講演など)	・地域課題を知る ・農業や地域の魅力の発見、発信 ・新しいアグリビジネス

中間事業報告

## 運営委員からの指導・助言

- 本校の強みは、生産から流通、販売までを一貫して生徒に経験させる機会があることだと思います。
- 北海道は、発酵技術について強みがあるため、発酵を研究している研究機関と連携してはどうか。
- ケータリング、観光関係の授業を受けることで、お客様の立場が理解できるようになります。
- スマート農業が徐々に農業現場に入っているため、引き続き、最先端の農業教育に取り組んでほしい。
- 成功と失敗を積み重ねることで、ストレスコントロールやコミュニケーション能力が向上します。
- 高校と生産者、卸売会社が協働した商品開発を検討し、地元貢献したい。
- 加工品は、管内の農作物を使うなど特色を出してほしいです。
- 現場からの視点で指摘することで、生徒自身が新たな課題を見いだせるよう支援していきたい。
- 2050年のゼロカーボン構想に向けて、農業高校においても、どのような取組が可能か考えてほしいです。

協議

## 審議官からの指導・助言

- マイスター・ハイスクール事業は、今年度の目玉として進めているもので、新学習指導要領の趣旨を加速化する取組です。
- マイスター・ハイスクール事業は、専門高校が、地域と一体となって地域のこれからの社会を支えるための下地になる取組と考えているため、制度を活用していく過程を記録してほしいです。
- 学校設定科目を含めたカリキュラムの検討や新しい取組へのチャレンジにおいて、議論をして実現させていく過程が学校の財産になります。
- 町に支えられているということは、先生方が地域のことを常に考えながら、子どもたちのことを考えていることの裏返しだと思いますので、引き続き、取組を進めてほしいです。

試食



試食した5品

視察・協議終了後には、食品科学科の生徒たちが、加工実習で製造した5品の試食が行われ、委員からは「着眼点が面白い」、「おいしい」などの率直な感想が聞かれ、大変好評でした。

- 「食彩の秋チェブオハウ風おにぎり」・・・①  
(アイデアコンテスト2020大賞)
- 「北海道の夏！とうきびフィナンシェ」・・・②  
(テレビ局主催オリジナルスイーツコンテスト入賞)
- 「粗挽きウィンナーとベーコンのグリル  
～なんばん黒みそを添えて」・・・③
- 「ペリーラ(赤しそ)の雫のソーダ割り」・・・④
- 「バニラアイスクリーム」・・・⑤

## 北海道議会文教委員が静内農業高校を視察

本取組は大変注目されているため、11月19日(金)、北海道議会文教委員の12名が、マイスター・ハイスクール事業の取組を視察に訪れました。

あいにくの雨だったため、マイスター・ハイスクール事業の説明の後、「食品製造」や学校設定科目「馬利用学」の授業、実習室、馬事資料室など、校内の視察となりました。



正しい乗馬姿勢を学ぶ授業の様子(学校設定科目「馬利用学」)



本校生産馬の活躍や馬生産に係る教材が展示されている「馬事資料室」での説明の様子

今後の  
予定

令和4年1月26日(水) 中間成果報告会(オンライン)  
1月28日(金) 第3回運営委員会(オンライン) ※ 今年度の検証・評価を実施  
3月中 事業報告書の提出